

5

いつもより雨が強いなど感じたら、 早め早めに避難準備を開始してください（避難行動①）

1. 大雨注意報、氾濫注意情報は発表されていませんか？

- テレビやラジオ、インターネット等で防災情報を確認してください。
特に数時間後の降雨予測を確認してください。
- 窓から外の様子をのぞいてみましょう。
 - ➡ 雨がザーザーと降っていませんか？
 - ➡ 道路は地面一面に水溜まりができるかもしれませんか？
 - ➡ 車のワイパーが通常の速さでは前方が見づらくなっていますか？



2. 避難準備・高齢者等避難開始が発令されたら

避難準備を始めてください！

- ハザードマップで避難所・避難場所と避難経路を確認し、持出品や雨具、杖などを準備してください。

**重
要**

**高齢者等の要配慮者とその支援者の方は
早め早めの避難行動を開始してください！**

- 高齢者や身体が不自由な方など、要配慮者が避難するには、外出の準備や避難所・避難場所までの移動に時間がかかります。
- 夜間に大雨が降る予報が出ている場合は、隣近所に声掛けするなど、日没までに避難所・避難場所への移動を完了しましょう。
- 要配慮者利用施設の方々が避難するには、服装や車椅子、医療器具等の準備や専用自動車の手配等が必要となるため、避難所・避難場所までの移動に時間がかかります。



コラム

犠牲者の8割が高齢者 ~過去の災害の教訓（新潟県の事例より）~

平成16年7月、突然の大豪雨が新潟県を襲いました。1日で約2ヶ月分の雨が降りました。地域コミュニティは形成されていました。しかし、いざ災害が発生すると、避難するための時間的余裕がありませんでした。

死者16名のうち、13名が70歳以上の高齢者でした。



出典：国土交通省水害レポート2004

なぜこのような被害となったか・・・

避難勧告は発表されたが・・・

広報車による呼びかけをしましたが、激しい雨にかき消され、避難勧告に気づかなかった住民もいました。



避難が遅れてしまい・・・

堤防が決壊した後に避難を開始した住民の多くが家屋の2階や屋根の上に取り残されました。

もう、ここから逃げられない！

